

# Yearly Digest

YMFS  
ヤマハ発動機スポーツ振興財団

2020/4 — 2021/3

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 令和2年度の主な事業活動の実績



2020年度  
トピック

## 浅見俊雄理事から伊坂忠夫理事へ

～つながれたスポーツチャレンジ助成審査委員長のバトン～

スポーツチャレンジ助成創設以来14年間にわたり、審査委員長としてご指導くださいました浅見俊雄理事が昨年10月に名誉審査委員長に就任され、後任の審査委員長に伊坂忠夫理事が就任されました。浅見理事のこれまでの温かいご指導に、あらためて心からの感謝を申し上げます。なお、伊坂理事には第15期生の審査からご担当いただいています。

## スポーツチャレンジ助成事業

スポーツチャレンジ助成

### コロナ禍での困難に、創意工夫と努力でチャレンジ

スポーツを通じて世界に羽ばたく逞しい人材の育成を目的とする本事業は、2020年度（第14期）チャレンジャーとして34名を助成。成果とともに成長プロセスを大切にする独自のPDCAプログラムや、異分野の交流を通してそれぞれのチャレンジを支援しました。オンラインによる中間報告会や、年度末の成果報告会「スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング（SCM）」では、コロナ禍で活動が制約される中、アスリート・研究者ともに創意工夫と努力で乗り越えてきた過程が報告されました。2021年度（第15期）は、体験・研究計31名（総額3,065万円）の助成を決定。近年の傾向としては、ジュニア世代から高く明確な目標を持ち、世界の舞台に果敢に挑戦する逞しいアスリートが増えています。



W杯U-17クラスで優勝を目指す守屋選手



研究者も工夫と努力を重ねた一年



初のオンライン開催となった「スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」（3月）



中間報告会もオンラインで実施（10月）

# スポーツチャレンジ体験事業

ジュニアヨットスクール葉山

## コロナ禍でもセーリングを通して逞しく成長

セーリングスポーツを通して、心身ともに逞しい子どもたちの育成を目的とする当スクールは、小・中・高生合わせて36名で2020年の新年度をスタート。コロナ禍の影響で断続的な休校も生じましたが、活動再開時には皆が楽しそうにヨットを操る姿を見せてくれました。また、8月以降再開した各種大会にもたくさんのスクール生が参加。さまざまな制約の中でも集中して練習に取り組んできたことから、好成績を得て全国大会への出場権を獲得するなど、コロナに負けず大きな成長を見せています。



スクールの拠点である葉山マリーナ周辺の水域で教室を実施



新入生も加えた36名で活動を実施



練習再開後、元気に海に出る子どもたち



座学で操船の基本を学ぶスクール生

## 第29回セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖

### 参加者の安全を最優先して開催を中止

毎年春休みに開かれるジュニア・ユースのセーリング競技会として定着している「セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」は、今年度29回大会として（独法）日本スポーツ振興センターの助成を受け開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の安全を最優先して開催を中止しました。

# スポーツくじ



※（独法）日本スポーツ振興センターのくじ助成金交付  
確定額 74,800円（コロナ対応SNS制作費に使用）

## スポーツ教材の提供

### 運動・スポーツの楽しさを実感！

子どもたちのスポーツ機会の充実を目的に、全国の幼稚園、小学校、特別支援学校等を対象に展開している「スポーツ教材の提供」に657件の応募がありました。ヤマハ発動機ジュビロの大戸裕矢主将による抽選を経て、計120団体にサッカーボール、タグラグビーセットを提供しました。休校や外出自粛による子どもたちへの影響が懸念されていますが、収束後には教材が学びや遊びに貢献できることを願っています。本年度も全国で約1万人の子どもたちや教員・指導者の皆さんが参加した活動となり、模範的な活用事例はウェブサイト等で紹介しています。



ヤマハ発動機ジュビロ 大戸主将による抽選風景



## タグラグビー体験会

### 運動の得意・不得意に関わらず、 みんなでパスをつないだ「はじめてのタグラグビー」

子どもたちのスポーツ機会の充実を目的に、静岡県西部3市1町の小学校を対象に実施している指導サポート付きスポーツ教材の提供「はじめてのタグラグビー教室」は、ヤマハ発動機（株）の協力のもと、2020年度は2校で計4回開催。今年度までの7年間で44校実施しました。指導する元ヤマハ発動機ジュビロの選手は、「誰もが参加でき、笑顔が溢れ、スポーツを通じて成功体験ができるため、スポーツを楽しむ好きになる機会として最適な教材だと思います」と話していました。



7年間で小学校44校を巡回指導

## 第32回全国児童 水辺の風景画コンテスト

### 水辺体験は途絶えず、全国から応募作品6,556点！

積極的に水辺に出かけることを啓発し、そこで発見・体験したことを描くことで、感性を育み、のびのびと成長するための一助となることを目的とした「水辺の風景画コンテスト」。本年度も全国の幼稚園や小学校等396団体から6,556作品の応募があり、入賞23作品と入選作品337点を決定。大臣賞受賞者には在籍校等の協力で表彰式を開催しました。入賞作品は当財団ウェブサイトに掲載するとともにヤマハ発動機コミュニケーションプラザ等で展示。審査員長を務めた国広富之さん（俳優・画家）は、「コロナ禍の中でも多くの作品が寄せられたのは、ご家族や指導者の皆さまによる感染予防などの努力もあり、体験が途絶えることなく行われたということ」と話されていました。

●特別協賛：ヤマハ発動機株式会社 ●協賛：Love the Earth 実行委員会、三井住友海上火災保険株式会社、マルマン株式会社、株式会社ワイズギア ●後援：文部科学省、国土交通省、環境省、農林水産省、一般社団法人日本マリン事業協会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、NPO法人ジャッパングームフィッシュ協会、一般社団法人日本マリーナ ピーチ協会、独立行政法人国立青少年教育振興機構、一般財団法人日本海洋レジャー安全 振興協会



4作品の大臣表彰式を幼稚園や小学校で実施



審査会を通して360点の入賞作品を決定

## ユニバーサル・スポーツ体験会

### ともに楽しみながら、多様性への理解を深める 「チャレンジ！ユニ★スポ」ポッチャを体験

2019年度にトライアル事業として開始した「チャレンジ！ユニ★スポ」は、障害者スポーツとして生まれた競技「ポッチャ」をともに楽しむユニバーサル・スポーツの体験会です。スポーツを通じて多様性への理解を深める機会として、学術調査を兼ねて静岡県下12校の小学校で開催し、861名の児童、教員が参加した活動となりました。ある開催校では、「パラリンピックの映像を見せたとき、子どもたちが何よりも驚いていたのはプレーする姿そのものでした。想像とは異なるパラリンピアンたちの見事なプレーに惹きつけられ、当日は、指導員の話に熱心に聞き、休憩時間も練習を続けるほど夢中になる姿が見られました。学校体育として魅力的な教材。ぜひ他の学年や学校へと広げていきたい」と、大きな手応えを感じていました。



学術調査を兼ねて12校の小学校で開催

# スポーツチャレンジ啓発事業

## 第13回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞

### 日本のスポーツを支える「縁の下の力持ち」を表彰

スポーツ振興において多大な実績を残すとともに、その功績によって社会の活性化に貢献した「縁の下の力持ち」的な人物・団体を表彰しています。第13回スポーツチャレンジ賞は、写真などを通しパラアスリートのアスリートとしての活躍・魅力を伝播されてきた、越智貴雄さんが奨励賞に選出されました。越智さんは、2000年から障害者スポーツの取材に携わり、アスリートとしての生き様にフォーカスして撮影・執筆を続けられました。さらに、第6回スポーツチャレンジ賞功労賞を受賞した義肢装具士の臼井二美男さんとともに、義足の女性たちによるファッションショーを開催するなど多方面で活躍。写真家という枠に収まることなく、自らが社会と積極的に接点を創り、架け橋となってパラアスリート、パラスポーツの魅力を発信し続けています。越智貴雄さん足跡と功績は、当財団ウェブサイト「BACK STORIES」で公開予定。

●後援：公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会



写真家という枠に収まらず、幅広い活動でパラアスリートやパラスポーツの魅力を発信



奨励賞受賞の越智貴雄さん

### 調査研究

#### コロナ禍におけるパラアスリートの活動状況を把握

スポーツ振興やスポーツ文化向上にかかわる社会的な課題解決に寄与するため、当財団の特徴を活かし得る分野において調査研究活動を行い、その成果の社会活用を促進しています。9年目となる障害者スポーツ分野では、①障害者スポーツ選手のキャリア調査、②コロナ禍におけるアスリートの活動状況調査、③ユニ・ス波特験での児童の意識変容調査を実施し、また、トップスポーツ分野においては、「トップスポーツ組織の地域振興活動」をテーマに関係自治体を対象に調査を実施。それぞれの調査結果の報告書を発行しました。今後、各方面での活用が進むことが期待されます。



### 情報発信

#### スポーツの楽しさを、子どもたちの笑顔を通して発信！

障害のあるなしに関わらず、誰もがスポーツを楽しむ社会の実現に寄与するため、スポーツを楽しむ子どもたちや、スポーツを通じて世界に挑戦するチャレンジャーの実像など、スポーツの楽しさ、魅力などさまざまな情報をスポーツ振興の現場からわかりやすく紹介しています。

掲載情報の詳細については、ウェブサイトをご覧ください。

[www.ymfs.jp](http://www.ymfs.jp)

